

幼児教育史学会 第17回大会プログラム

2021年12月4日（土）
上智大学（オンライン開催）

I 日程

8:30	9:00	12:30	13:30	16:30	17:30
開室	研究発表	昼食	シンポジウム	総会	

II 開催形式

Zoom によるオンライン形式で開催します。

Zoom の ID とパスコードは別紙に掲載しています。

III 大会参加費

大会参加費は徴収しません。

IV 研究発表

研究発表時間は、一人あたり 30 分（発表 25 分、質疑 5 分）です。

発表内容は未発表のものに限ります。

発表者が遅刻の場合は、発表資格を失いますので、ご注意ください。

発表用レジュメ・資料等は、前日までに学会 HP からダウンロードできるようにしますので、HP をご確認ください。

発表者は必要に応じて、当日の画面共有にて発表レジュメやパワーポイント資料を掲示してください。

V 大会事務局

幼児教育史学会第 17 回大会実行委員会（委員長：湯川嘉津美）

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1

上智大学総合人間科学部 湯川嘉津美研究室

E-mail : k-yukawa@sophia.ac.jp TEL : 03-3238-3586

大会日程

【開室】 8:30～ 諸注意

【開会の挨拶】 8:45

【研究発表】 9:00～12:30

司会： 勝山 吉章（福岡大学） 高田 文子（白梅学園大学）

[1] 9:00～9:30

ペスタロッチ・フレールハウスとナチズム

小玉 亮子（お茶の水女子大学）

[2] 9:30～10:00

ナチズム期のシュタイナー学校の状況について

有川 優子（神戸教育短期大学）

[3] 10:00～10:30

城戸幡太郎の教育学批判——児童研究所創設を手がかりとして——

日隈 脩一郎（東京大学大学院）

[4] 10:30～11:00

保育労働者としての男性の参入——全国男性保育者連絡会の保育運動を中心に——

新庄 洸（関西大学大学院）

[5] 11:00～11:30

1977年～1981年の中央教育審議会における生涯教育の議論と幼児教育政策の方向性

藤谷 美央（お茶の水女子大学大学院）

11:30～12:30 全体討論

【昼食】 12:30～13:30

【シンポジウム】 13:30～16:30

テーマ：幼児教育史研究の成果と課題—『幼児教育史研究の新地平』の検討を踏まえて—

提 案 者：太田 素子（和光大学名誉教授）

勝山 吉章（福岡大学）

梶 瑞希子（聖徳大学）

指定討論者：オムリ慶子（関西学院大学）

松島のり子（お茶の水女子大学）

司 会 者：湯川嘉津美（上智大学）

【総会】 16:30～17:30

大会関連企画

大会翌日の2021年12月5日（日）9:30より「海外の幼児教育の研究動向を愉しみながらフォローする会」をオンラインで開催します。

内容：加藤繁美『保育・幼児教育の戦後改革』（ひとなる書房、2021年）の読書会

（幹事：塩崎美穂）